

石油システム推進事業の実施状況について

2011年10月

石油システム推進委員会は、灯油需要防衛のため、(社)日本ガス石油機器工業会(機器メーカー団体)、全国石油商業組合連合会等を連携し、石油燃焼機器の普及促進・啓発活動を実施している。

1. 2011年度 石油セミナー実施について

分散型エネルギーである灯油の有効性に係る理解促進、高効率石油給湯器エコフィール、石油暖房機の普及促進を図るため、石油販売業者、機器販売業者等を対象として北海道、東北、信越、北陸、計20都市において石油セミナーを開催した(合計1,578名参加)。

- (1) 主催：石油システム中央推進協議会、各地区石油システム連絡会
- (2) 後援：各県石商(北海道石協等)、全石連
- (3) 概要：①最新の石油情勢等に関する情報提供
②機器展示による最新機器に関する情報提供
③分散型エネルギーとしての灯油の有効性と近年の石油機器販売動向等の説明



石油販売事業者、機器販売事業者等の取組み活動の活性化を図る

- (4) 基調講演講師：
 - ①日本エネルギー経済研究所 国際戦略・石油・電力総括理事 小山 堅 氏
(秋田、山形)「国内外の石油情勢について」
 - ②UBS証券会社 シニアアナリスト 伊藤 敏憲 氏(会津若松)
「東日本大震災をきっかけに変わるエネルギー産業と今後の展望」
 - ③北海道大学 名誉教授 繪内 正道氏(旭川、苫小牧、札幌)
「エネルギー自立化住宅に向けた一つの回答」
 - ④北海道立北方総合研究所 企画部長 福島 明 氏、石油情報センター 前川研究
理事 等

(5) 開催月日・開催地・参加者数：

開催日	開催地	参加者	開催日	開催地	参加者
7月20日	秋田市	80名	8月3日	郡山市	71名
7月21日	青森市	48名	8月4日	苫小牧市	52名
7月21日	釧路市	53名	8月4日	仙台市	84名
7月22日	盛岡市	102名	8月5日	札幌市	170名
7月22日	帯広市	51名	8月19日	函館市	65名
7月26日	鶴岡市	57名	8月25日	稚内市	43名
7月27日	山形市	89名	9月2日	新潟市	122名
7月28日	北見市	63名	9月8日	金沢市	90名
7月29日	旭川市	50名	9月9日	富山市	102名
8月2日	会津若松市	73名	9月13日	長野市	113名

(合計1,578名)

(6) 今後の展開

石油販売事業者の関心が高まっていることから、関係者の取組み意欲をより喚起する内容の改善、開催箇所の増加等についてガス石工業会、全石連と調整を進める。

2. 「灯油でほかほかキャンペーン 2011」の実施について

需要期を迎える灯油、石油暖房給湯機器の需要喚起を図るため、幅広い層の一般消費者を対象としたキャンペーンを10月1日から11月30日まで実施する。

(1) 主催：(社)日本ガス石油機器工業会、石油連盟

協賛：全国石油商業組合連合会、石油暖房・給湯機器メーカー

(2) 訴求ポイント：

}	①分散型エネルギーとしての灯油の有効性
	②石油暖房機の安全性向上（キチッとホッと）
	③省エネ&エコ・高効率給湯器（エコフィール）

(3) 応募期間：2011年10月1日(土)～11月30日(水)

(インターネット、携帯電話、ハガキで応募)

(4) 広報展開：ポスター、チラシ(SS、機器販売店店頭)、インターネット広告、地方紙新聞広告、各社(元売、機器メーカー、全石連等)HP バナー、石連HP等

(5) キャンペーン内容：

①形式：3つの訴求ポイントをクイズ形式で回答、正解者の中から抽選で、賞品を提供する。

②賞品：石油ストーブ32名、石油ファンヒーター20名、ご当地グルメ58名
クオカード420名 <合計530名>

(6) 応募状況：10/1(土)～28(金)までの28日間で約6.1万件

以上